平成23年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上 場 会 社 名	株式会社 日本抵抗器製作所		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	6977	ＵＲＬ	http://www.jrm.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)　代表取締役		(氏名)　木村　準
問合せ先責任者	(役職名)　部長		(氏名)　砂田　武男　　(TEL)03(3762)8523
四半期報告書提出予定日	平成23年11月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成23年12月期第３四半期の連結業績（平成23年１月１日～平成23年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売　上　高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第３四半期	4,332	△9.1	129	△27.3	85	△31.1	△35	―
22年12月期第３四半期	4,765	57.4	178	―	124	―	1	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年12月期第３四半期	△2.39	―
22年12月期第３四半期	0.09	―

（２）連結財政状態

	総　資　産	純　資　産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年12月期第３四半期	6,063	791	10.7	53.94
22年12月期	6,335	783	11.0	58.00

(参考)自己資本　　23年12月期第３四半期　　646百万円　　22年12月期　　696百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期　末	合　計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年12月期				0.00	0.00
23年12月期					
23年12月期(予想)				0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　　：無

３．平成23年12月期の連結業績予想（平成23年１月１日～平成23年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売　上　高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	5,500	△14.3	160	△35.0	110	△34.9	10	△73.0	0.83

(注)当四半期における業績予想の修正有無　　：有

４．その他　（詳細は、【添付資料】P. ３「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　　：無

新規　―社　（社名）　　、除外　―社　（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　：有

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年12月期３Ｑ	12,400,000株	22年12月期	12,400,000株
②　期末自己株式数	23年12月期３Ｑ	413,193株	22年12月期	395,245株
③　期中平均株式数(四半期累計)	23年12月期３Ｑ	11,993,368株	22年12月期３Ｑ	12,006,066株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第３四半期連結累計期間） …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた景気回復基調の端緒が見受けられますが、欧州での通貨危機を発端とした歴史的な円高により製造業を中心とした輸出産業に深刻な影響を及ぼし、企業活動を取り巻く環境は極めて厳しい状況が続いております。

この様な経済情勢のもと、当社グループでは固定費の抑制、コストの低減を進め、収益力の強化に取り組む一方、新製品の開発に努め、業績の伸長と経営基盤の確立をめざしてまいりました。

その結果、当連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

売上高　　43億３千２百万円（前年同期比　9.1％減）
営業利益　　１億２千９百万円（前年同期比　27.3％減）
経常利益　　８千５百万円（前年同期比　31.1％減）
四半期純損失　　３千５百万円（前年同期　四半期純利益　１百万円）

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第３四半期連結会計期間末における連結総資産は、前連結会計年度末と比較して273百万円減少し6,063百万円となりました。変動の主なものは、現金及び預金の264百万円の減少、受取手形及び売掛金の109百万円減、たな卸資産等の46百万円の増加、未収入金の116百万円の減、建設仮勘定の150百万円の増、繰延税金資産の61百万円増であります。

負債は前連結会計年度末と比較して281百万円減少し5,271百万円となりました。変動の主なものは、短期借入金の248百万円の減少であります。

純資産は前連結会計年度末と比較して8百万円増加し、791百万円となりました。変動の主なものは利益剰余金の減少35百万円、少数株主持分の増加58百万円であります。

1株当たり純資産は前連結会計年度末と比較して4円6銭減少し53円94銭となり、自己資本比率は10.7%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは130百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が△5百万円となったこと、売上債権の減少164百万円、たな卸資産の増加△49百万円、仕入債務の減少△185百万円によるものであります。投資活動による キャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出△238百万円、定期預金の預け入による支出△65百万円、定期預金の払戻しによる収入100百万円等により△209百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは長短借入金の減少△139百万円、社債償還支出△90百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出△18百万円等により△148百万円となりました。これらの結果、当第３四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は1,687百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期の業績予想につきましては、平成23年８月12日に公表しました業績予想を修正しております。詳しくは別途本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

１．棚卸資産の評価方法

当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

２．法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計基準等の改正に伴う変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ333千円減少し、税金等調整前四半期純損失は、4,117千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は907千円であります。

表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

②　①以外の変更

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,808,869	2,073,329
受取手形及び売掛金	1,410,403	1,519,616
商品及び製品	215,565	183,042
仕掛品	40,458	37,484
原材料及び貯蔵品	611,945	601,645
未収入金	127,199	243,567
繰延税金資産	40,863	45,599
その他	43,610	41,938
貸倒引当金	△18,400	△43,102
流動資産合計	4,280,512	4,703,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,153,457	1,162,041
機械装置及び運搬具	1,101,207	906,021
工具、器具及び備品	1,116,006	1,105,209
土地	303,693	303,693
リース資産	75,655	227,257
建設仮勘定	151,000	999
減価償却累計額	△2,691,489	△2,598,989
有形固定資産合計	1,209,529	1,106,231
無形固定資産	14,710	13,747
投資その他の資産		
投資有価証券	216,872	251,669
長期貸付金	29,262	16,924
繰延税金資産	202,088	135,795
その他	106,338	105,712
投資その他の資産合計	554,560	510,100
固定資産合計	1,778,799	1,630,078
繰延資産	3,868	2,692
資産合計	6,063,179	6,335,888

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,220,804	1,374,410
短期借入金	1,677,472	1,924,973
1年内償還予定の社債	100,000	80,000
リース債務	18,056	21,436
未払法人税等	18,660	9,193
賞与引当金	24,790	3,691
受注損失引当金	2,293	3,086
その他	59,607	117,008
流動負債合計	3,121,682	3,533,797
固定負債		
社債	250,000	260,000
長期借入金	1,467,432	1,359,380
リース債務	35,851	40,310
繰延税金負債	8,281	－
退職給付引当金	387,599	359,110
資産除去債務	907	－
その他	106	106
固定負債合計	2,150,176	2,018,906
負債合計	5,271,858	5,552,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	724,400	724,400
資本剰余金	131,417	131,417
利益剰余金	14,103	49,273
自己株式	△168,107	△165,244
株主資本合計	701,813	739,846
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,307	3,631
為替換算調整勘定	△59,576	△47,143
評価・換算差額等合計	△55,269	△43,512
少数株主持分	144,777	86,851
純資産合計	791,321	783,185
負債純資産合計	6,063,179	6,335,888

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	4,765,996	4,332,149
売上原価	3,715,542	3,307,166
売上総利益	1,050,454	1,024,983
販売費及び一般管理費	872,325	895,426
営業利益	178,129	129,557
営業外収益		
受取利息	1,741	1,418
受取配当金	4,281	4,518
不動産賃貸料	8,616	5,584
その他	21,001	16,187
営業外収益合計	35,639	27,707
営業外費用		
支払利息	54,341	40,686
為替差損	23,371	12,132
その他	11,912	18,950
営業外費用合計	89,624	71,768
経常利益	124,144	85,496
特別利益		
デリバティブ評価益	9,949	－
投資有価証券売却益	－	5,182
貸倒引当金戻入額	17,552	－
負ののれん発生益	－	3,737
特別利益合計	27,501	8,919
特別損失		
固定資産除却損	4,082	3,297
投資有価証券売却損	135	－
投資有価証券評価損	80,690	32,096
貸倒損失	11,302	58,656
出資金評価損	－	1,760
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	3,784
特別損失合計	96,209	99,593
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	55,436	△5,178
法人税、住民税及び事業税	9,266	20,131
法人税等調整額	△62,756	△53,271
法人税等合計	△53,490	△33,140
少数株主損益調整前四半期純利益	－	27,962
少数株主利益	107,896	63,132
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,030	△35,170

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	55,436	△5,178
減価償却費	113,035	125,407
退職給付引当金の増減額（△は減少）	75,169	28,489
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	△24,702
賞与引当金の増減額（△は減少）	26,081	21,099
受注損失引当金の増減額（△は減少）	6,657	△793
受取利息及び受取配当金	△6,022	△5,936
支払利息	54,341	43,619
有形固定資産除却損	4,082	2,001
投資有価証券売却損益（△は益）	135	△5,182
投資有価証券評価損益（△は益）	80,690	33,855
デリバティブ評価損益（△は益）	△9,949	－
売上債権の増減額（△は増加）	△103,536	164,032
たな卸資産の増減額（△は増加）	△76,953	△49,439
仕入債務の増減額（△は減少）	31,291	△185,248
未払消費税等の増減額（△は減少）	16,314	△13,939
その他	2,913	51,144
小計	269,684	179,229
利息及び配当金の受取額	6,022	5,936
利息の支払額	△54,341	△43,619
法人税等の支払額	△5,823	△10,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	215,542	130,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△200,004	△238,038
無形固定資産の取得による支出	△57	△2,407
投資有価証券の取得による支出	△280	△293
投資有価証券の売却による収入	7,796	6,480
貸付けによる支出	△14,150	△20,000
貸付金の回収による収入	4,217	8,977
定期預金の預入による支出	△44,820	△65,178
定期預金の払戻による収入	70,892	100,497
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,406	△209,962
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	76,794	△108,779
長期借入れによる収入	435,000	952,000
長期借入金の返済による支出	△849,148	△982,670
社債の発行による収入	100,000	100,000
社債の償還による支出	△60,000	△90,000
自己株式の取得による支出	△91	△65
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,429	△18,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,874	△148,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,506	△1,968
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△287,244	△229,141
現金及び現金同等物の期首残高	2,319,515	1,916,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,032,271	1,687,487

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日至　平成22年９月30日）

	抵抗器（千円）	ポテンショメーター（千円）	ハイブリッドＩＣ（千円）	電子機器（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	999,131	491,636	2,405,225	870,004	4,765,996		4,765,996
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	440,587	89,840	530,427	(530,427)	－
営業利益	79,930	54,080	129,727	45,240	308,977	(130,848)	178,129

（注）１．事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年９月30日）

	日本（千円）	アジア（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高	4,463,022	838,639	5,301,661	(535,665)	4,765,996
営業利益	138,872	34,649	173,521	4,608	178,129

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．日本以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・・・中国、香港

【海外売上高】

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日至　平成22年９月30日）

	米州（千円）	欧州（千円）	アジア（千円）	計（千円）
Ⅰ　海外売上高	39,171	460,830	431,087	931,088
Ⅱ　連結売上高	－	－	－	4,765,996
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合	0.8	9.7	9.0	19.5

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 米　州・・・・・米国

(2) 欧　州・・・・・スイス

(3) アジア・・・・・中国

３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループ(当社及び連結子会社)は、電子部品の製造・販売及び付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので記載を省略しています。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。